

平成24年度

理事会（第2回）

議事録

平成24年8月11日（土）

山口県介護支援専門員協会

平成24年度 山口県介護支援専門員協会 理事会
議事録

1 日 時

平成24年8月11日（土） 午後2時から午後6時まで

2 会 場

山口県セミナーパーク 社会福祉研修室

3 出席者

(1) 理事

定数 31名

出席者数 24名（うち委任状出席3名）

出席者名

佐々木啓太	橘康彦	松谷法史	山本史彦	林浩二
山本史彦	林浩二	頃未能宏	堀田慎一郎	横山具寛
岩本裕子	松井康博	内山由紀	福井治枝	鬼木泰子
田村則子	守田由起子	河本好英	岩神亜紀	山本太郎
板垣智子				

委任状出席者

木村友和 渡邊康浩 関永里美

(2) 監事

定数 2名

出席者数 1名（うち委任状出席0名）

出席者名

廣兼裕之

(3) 顧問

定数 1名

出席者数 0名（うち委任状出席0名）

(4) 事務局 福祉人材研修部 職員 福本かおる

4 報告事項

各部の活動状況について

第9回ケアマネジメント研究大会実行委員会からの報告（第1回、第2回）

5 上程議案

(1) 調査研究部から

(2) 広報事業部から（キャストGXの件について）

(3) 平成24年度 収支補正予算（案）について

(4) 今後の県協会の方向性について

(5) 事務局機能について

6 審議の経過

松谷理事

本日の理事会議事録署名人の選出について、次の理事を指名し、両名の承諾を得た。

山本太郎

堀田慎一郎

佐々木会長挨拶の後、各部の活動状況として、各部長より報告をしていただいた。

堀田理事 広報事業部では、協会だよりを8月発行予定にしているのもそれに向けて準備をしている。協会のホームページの運用については議案の方で報告させていただく。

松井理事 公益事業部では、社会資源情報の掲載についてキャスト GX が廃止の方向なのでメインページへ移行予定。更新、情報の確実さ等を考慮するため管理できる範囲内で検討していく。介護保険関係の申請書式をダウンロードできるようにリンク一覧を検討。

現場のケアマネの思いを集約できるように、協会として問題改善に向けての取組を実感してもらえるようにアンケートを配布する。集められた意見を他団体との会議、研修等でフィードバックしていく。

災害対策について日本協会の災害マニュアルを流用した形で山口県の災害マニュアルを作成し、机上訓練が行える形作りをする。理事会で災害訓練をシミュレーションし、地域レベルで行える形を作る。

岩神理事 生涯研修部では、実務従事者基礎研修の協力員について日程を調整している。理事の方で協力員として参加できる都合の良い日を伺う。

次年度以降の研修については秋頃までに企画、調整を行う。今年度中央、東部で会場を分けて研修を行ったが、会場費、講師料をまかなえる程の人数を集めるのが難しい状態であり、精神疾患の研修について2会場で行う予定であったが中央会場のみで行うことを了承いただく。研修の意向についても地域協会と連携して組立をしていくことが課題である。

佐々木会長 精神疾患について中央会場で行うことについて質疑を求めたが特になく、満場に諮ったところ、全員異議無く承認された。

田村理事 調査研究部では、今年度のテーマとして会員数の減少について、県協会に求められることを原点に戻って調査していく。各地域から理事が集まっているので意見を地域別に分析していく。

松谷理事 組織総務部では、研究大会実行委員に合わせて部会を行っている。会員を増やす事を目的として楽しみのある企画を考えていたが、費用の面等あるので各地域のお祭りに参加し、県協会のブースを作り協会の紹介をしていく。美祢福祉祭りが10月21日(日)に開催されるので県協会としてバザーで参加する。県内で輪を広げる運動をしていく。

続いて、第9回ケアマネジメント研究大会実行委員会の報告について、介護支援専門員のあり方を見つめ直す機会として、利用者目線を意識しながらシンポジウム、研究発表等を行う。次回実行委員会の際に当日の役割分担を決めるので理事の方へ協力をお願いをすることと合わせて、地域の方へ参加の声かけをしていただく。

基調講演について日本協会にお願いしている。目玉としてランチョンセミナーを企画している。研究発表を3題予定しており座長に谷山氏、助言者に松永氏、シンポジウムについてはコーディネータを橘氏にお願いしている。事例提供を利用者の方代表で防府 ALS

家族会、下関認知症家族会へ参加をお願いしている。

- 佐々木会長 内容について利用者目線からケアマネジャーのあり方を考えていく。参加者を増やすため地域の方への声かけをお願いする。
- 松谷理事 続いて第1号「議案調査研究部から」について田村理事に説明をいただく。
- 田村理事 会員の減少原因、組織の問題、研修について等考えられることを地域毎の意見をKJ法でグループ分けしていく。
意見
・会費の問題
・地域、県の役員の引継ぎがうまくいかず連携がとれない
・個人のモチベーションが低い、仲間意識が薄い等
意見集約、分析結果を地域へフィードバックしていく。
- 岩神理事 公益事業部からの県協会からのお願いアンケートについて研修で配布する際に会員、非会員関係なく配布してよいのか。
- 鬼木理事 協会の宣伝にもなるので非会員の方へも配布してよいのではないのか。
- 佐々木会長 会員、非会員が分かったほうがよいのではないのか。
- 松谷理事 会がバックアップしているという意味でも会員のメリットとして会員に配布するのがよいのではないのか。
- 橘 副会長 このアンケートは県協会として現場のケアマネの声聞くものなので会員、非会員にこだわらず配布し、地域理事で活用方法を変えて、違う形で非会員の意見も集約していけばよいのではないのか。
- 松井理事 会員か非会員の欄を追加して、記載の中身は自由に書いていただき、出た意見について細分化が必要か検討していく。
- 松谷理事 続いて第2号議案広報事業部からキャストGXについて堀田理事に説明をいただく。
- 堀田理事 キャストGXの運用について検討したところ、閲覧状況が少なく、かいごへるぷ等他のサイトで情報源を得られるので利用率は会員の1から2割程度となっている。お知らせ機能についても登録者数は300名前後となっており、費用対効果が見られない状況である。GXの年間経費30万円をメインページに移行することで年間6万円のサーバーレンタル料のみで運用することができる。デメリットとして会員外でも情報を閲覧できる形になるが、会員のみ配信するメーリングリストを地域協会で作成していただくことでリアルタイムな情報を発信をすることが出来る形になる。
- 佐々木会長 現在メインページにキャストGXの情報を移行していくことを検証している段階である。情報を載せる事に関しては簡単にアップで

き、スケジュール機能も追加している。掲示板については費用がかかるが、地域毎に掲示板を作成することもできる。経費削減のためにGXを廃止する事についてご意見を伺う。メーリングリストについては地域毎に会員の方にアドレス登録していただき、更新される情報の配信等を考えている。

守田理事 柳井ではキャストGX、メインページもほとんど閲覧していない状況の中で、会員のメールアドレスを地域で取りまとめることに負担がかかり、名簿の作成も難しい状況である。

佐々木理事 地域内でも情報発信ができ、郵送費用等も削減できるメリットもあり全員すぐにということではないが、県としてスムーズに情報発信ができるので登録について考えていきたい。

松谷理事 便利な機能を知っていただければ徐々に活用していけるのでキャストGXは廃止の方向で、メインページ、メール配信等への移行について質疑を求めたが特になく、満場に諮ったところ、全員異議無く承認された。

岩神理事 メール登録についてアドレスを1カ所に送信すれば登録される形が出来ればよいのではないかと。

佐々木会長 空メールを送れば登録することもできるが、キャストGXと同じ原因が起こる傾向がある。情報をリアルタイムに伝達できるよう登録方法について検討していく。

松谷理事 続いて第3号議案「平成24年度収支補正予算(案)」について藤本事務局長に説明をいただく。

藤本事務局長 平成24年度収支補正予算(案)について説明。予算的に厳しい状況であり、研究大会の参加者も800名で組んでいるので広告収入等で収益を得ていく。

横山理事 実務従事者基礎研修について収支の差額は研修の参加費になっているのか。

藤本事務局長 研修参加費と県からの受託金を合わせた額と同額を支出予算に計上している。県へ報告の際に補助金を全額使用した形で収支報告をするので予算上支出が多くなっている。

岩神理事 基礎研修は法定研修であるが必須ではないので参加者が増えない状況であるが補助金で助けられている部分大きい。

橘副会長 他県では必須になっているので県へ働きかけたが山口県ではそこまでの規定はないとの意見をいただいている。県からはFAX等広報の面で協力をいただいた。

補正を定期的に組むことについて予算上次回の理事会は3月の1回のみになっているが、補正を組むのであれば理事会で承認を得ることが必要なので増やすことは可能なのか。

- 佐々木会長 理事会を開ければよいが予算上厳しいので研究大会開催後に理事会をする等検討する。
- 松谷理事 平成24年度補正予算(案)について質疑を求めたが特になく、満場に諮ったところ、全員異議無く承認された。
- 松谷理事 続いて第4号議案「今後の県協会の方向性」及び、第5号議案「事務局機能」について佐々木会長に説明を求めた。
- 佐々木会長 長期の目標を立て、会の運営を見ていくことが必要と思われる。そこで、方向性として8項目の長期目標を掲げた。
法定研修等委託の研修を受けていくために、地域、県レベルで出来る研修を体系化し、生涯学習体系を作り上げていく。委託を受ける上で法人格がどのように必要か状況にあった法人格取得についても考えていく。
事務局機能についてはスリム化を視野に入れ公募をしていく。
日本協会へも三層構造の役割として意見提言していく。日本協会のあり方についても意見集約する。地域協会を一番に考え今年度中に全地域を廻り、地域が動きやすい体制がとれるように支援していく。会費について来年度より会費負担が増えるので、メリットをアピールしていき、更なる経費節減をしていく。
事務局の検討について会長、副会長、組織総務部長で委託先の募集案内書を作成し公募を行う。対象として何カ所か話をいただいているのでその中での検討か、ホームページ等で周知する。
- 横山理事 例えば委託先はどのような所があるのか。
- 橘副会長 県社協、社会福祉会等既存の職能団体、事務局と名前がついている所に公募をかける。
- 佐々木会長 医師会、労働安定センターからも話をいただいているとのことなので脈のありそうな所へ声かけし、公募をしていく。
- 松谷理事 委託文章についても吟味しながら具体的に検討していく。
その他平成24年度日本介護支援専門員協会都道府県支部長会議については別紙参照。
平成24年度訪問看護ステーション・医療関係に勤務する看護師の相互研修会については9月中に地域宛に研修参加の連絡をする。

と き 午後6時00分

この議事録の内容が正確であることを証するため、署名捺印する。

平成24年8月11日

山口県介護支援専門員協会

議長 _____ 印

署名人 _____ 印

署名人 _____ 印